

イノベーションのための知財戦略

2008年1月

荒井寿光

1. イノベーションに役立つ知財インフラを作る

- ①特許情報と科学技術情報システムの統合システムを普及する。
- ②重要研究の特許マップ作成を支援する。

2. 分野別知財戦略を推進するため学会に期待する

- ①理工系の学会に知財委員会を設置し、特許法令の改正、審査基準の改正などについて具体案を提言するよう奨励する。
- ②医療特許を広くする。(法令改正、審査基準の改正が必要か)
- ③情報・エレクトロニクス分野については、国際標準獲得のための産官学の戦略委員会を設置する。

3. 技術情報管理ポリシーを作る

- ①国際共同研究の推進、外国人研究者の受け入れに伴い、知財をはじめとする技術情報管理ポリシーを大学・研究機関が整備するよう奨励する。
- ②政府は必要な法令を整備する。

4. 世界市民に受け入れられる知財制度を作る

発展途上国との共同研究を進めるため、彼らの立場を考慮した知財制度が必要である。
このため医療・環境などについて、分野別の国際研究を進め、具体策を提案する。

5. 知財人材の育成を加速化する

万能細胞研究に見られるように、先端技術に強く国際性のある知財人材の重要性が高まっている。
ポスドクを活用するなど、知財人材の育成を加速化する。